

施策評価シート

作成日	平成20年9月30日
部署	住民活動推進課
作成者	新村 政美

1. 施策の情報整理

施 策 名		防犯・交通安全対策の推進	
施策の 情報整理	目指す成果	様々な団体と地域が連携した活動を行う事によって、犯罪や交通事故などの危険(不安)要因が減少し、安全で生活しやすい住環境になっている。	
	施策目標値及び 19年度の状況	22年度目標値	19年度達成状況
		下記に記載	下記に記載
		犯罪発生件数(140件) 交通事故発生件数(55件)	犯罪発生件数(170件) 交通事故発生件数(69件)
	施策の達成状況	目標をほぼ達成	
	成果目標に対するH19の達成度の説明	19年度当初に設定した22年度の目標値は犯罪発生件数250件・交通事故件数が85件であったが、19年度実績値が犯罪発生件数170件・交通事故件数が69件と22年度の目標値を大きく下回る結果となったため、22年度目標値を見直した。	
	施策の総括	良好	
施策の 方向性	施策の方向性	・防犯灯未設置路線を中心に設置し、危険箇所の解消を図る。 ・安全で安心なまちづくりを目指し、地域のボランティア団体の連携を図るなど、防犯抑止効果の高い活動を展開する。 ・警察・行政・地域住民との連携・協働により、交通事故の要因を分析し事故原因を無くす努力をするとともに、町民ひとり一人に交通安全に対する意識の高揚を図り、安全な交通社会を構築する。 ・施策を遂行するにあたり、様々な数値を的確に把握し計画に反映させていかなければならない。そのために調査等を実施する。	
	他課との役割分担	・公園や道路などハード面の整備(改修)が必要な場合は管理する課との連携が必要となる。 ・子どもの安全を確保するためには、教育委員会との連携が必要である(青少年健全育成事業等) ・高齢者や障がい者などの弱者対策については福祉課との連携が必要である。	

(2) 分析後の取り組み方針

事務事業名		今までの進捗状況 説明	今後の取組 具体的方向性	事業費	
防犯環境整備推進事業		地域からの設置要望箇所については、おおむね設置してきたが、通勤・通学路及び生活用道路に未だ防犯灯や街路灯を設置していない箇所が残っている。	・防犯灯の未設置路線を優先的に設置していく	H19決算	16,953
				H20	15,800
				H21	16,500
				H22	
防犯活動推進事業		各種防犯団体の活動や啓発に加え、青色回転灯付パトロール車の運用によって、平成18年中に比べ平成19年中の件数が80件減った(250件から170件)しかしながら、防犯活動ボランティア団体の活動は特定の地域に限られており、全町的な展開には至っていない。	・安全で安心なまちづくりを目指し、防犯ボランティア団体による活動を全町的に展開し、地域ぐるみの取り組みを目指す。 ・地域ごとに発足した団体を組織化し、連携の取れた活動を行う。 ・緊急情報発信システムによって様々な情報をメールによって迅速に伝える。	H19決算	1,109
				H20	1,560
				H21	2,828
				H22	

	交通事故危険箇所 解消事業	主に危険箇所への看板や旗などの設置を行ってきたが、横断歩道や信号機の設置については、警察への要望を行っているが設置には至らなかった。	・引き続き、危険箇所の解消の為に安全施設の設置要望を行う。 ・安全施設の設置要望以外にも交通規制の要望も行う。	H19決算	
				H20	
				H21	
				H22	
	交通安全啓発事業	啓発活動・交通安全教室等の実施によって、平成18年中に比べ平成19年中の事故件数は31件減少した。	警察・安全協会等と連携し、危険箇所の解消と、ボランティア団体の育成による住民参加型の交通社会を築きあげる。	H19決算	1,412
				H20	1,137
				H21	1,137
				H22	